日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２９期・０１巻　　２０２３年　　４月号　　NO. 260

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

風の記憶

山行 NO.2012
2023/03/19
西丹沢　下ノ権現山

１．報告・当面の予定

０２月０４日（土）会＝宝永山２３５２ｍ峰・・・Ｉのみ登頂。
　　０６日（月）個＝木曽福島スキー場　１＋２・・・山岳スキー訓練
　　１１日（土）個＝二ッ塚　１・・・スキー訓練
　　１２日（日）個＝発端丈山　１＋１９・・・城山～三津
　　１６日（木）個＝八丁池　６・・・池は半氷だった
　　１８日（土）会＝宝永山　４・・・本体＝宝永分岐まで・分隊＝2352m 下部楽園、上部強風
　　２５日（土）会＝石割山　６・・・山中湖は未凍だった
０３月０４日（土）会＝北横岳　４・・・厳しい山だった
　　０９日（木）個＝大日ヶ岳　１＋２・・・山岳スキー、既に賞味期限切れ
　　１１日（土）会＝宝永山　３・・・１名、宝永山から滑降、２名、二ッ塚３本
　　１２日（日）会＝浜松・三岳山～兎荷山　５＋２・・・干支の山に上る
　　１９日（日）個＝西丹沢・下ノ権現山　２・・・ミツバ花盛り
　　２２日（水）個＝高通山　２＋１２・・・雲見道崩壊通行止め

４．寄贈会報とピックアップ

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　　３月号　　NO.表記ナシ　　P8　　電子版
　　予定＝檜洞丸、ダイラボウ、貫ヶ岳・思親山、万二郎～万三郎岳、守屋山
　　報告＝鷲ヶ峰～ゼブラ山、真鶴半島、普通救命講習、総会案内、など

「あさぎり」　あさぎり山の会　　３月号　　NO.353　　P42　　電子版
　　報告＝粟ヶ岳、賤機山、東天狗岳、有度山、辻山（鳳凰）、七面山、小豆島（碁石山は未登頂＝ここには珍しい「イワレンゲ」が生息する。ほか計画。

「甲斐峰」　山梨山の会　　３月号　　NO,310　　P17　　電子版
　　報告＝運営委員会・山行部・事務局報告、新会員、山道具メンテナンス、リレー・エ ッセイ「どん山の思いで」山行報告＝大蔵経寺、本社ヶ丸北尾根、八人山、冬の北海道旅行。2022 山梨日々新聞山岳遭難事故まとめ・・・年齢別＝70 歳以上が１９２件中、男 39・女 13 と圧倒的。編者もこの１人か？？（トホホ）
　　事由＝171 件中、滑落・転落 54、道迷い 45、転倒 31。形態＝171 件中、単独が 88 と圧倒的多。救助手段＝210 件中、ヘリが 81 件、地上救助 113。ほか、山行予定、など
　　４月号　　NO.311　　P23　　電子版
　　報告＝表紙の西吾妻・モンスターが素晴らしい。3/11 総会で OB 会について、地図読み、藪山歩き＝極意は？、裏磐梯・西吾妻、三石山、筑波山、八人山、笹子川流域バリ＝軌跡地図なし、要害山、山行状況。山行予定。会報えつらん＝れいほう２本。スケジュール。ほか

「竜爪ミニ」　静岡勤労者山岳会　３月号・・・静岡ふるさとの木による千年の森つくり計画＝以前から、３００～５００年寿命木である欅、紅葉、楓、コナラ等の樹木は植林していたが、より直根性、深根性である静岡の潜在植生であるスダジイ、シラカシ、タブノキ、アラカシ、アカガシ等の樹木があらゆる防災上の観点から、より優れていることが判り、１０００年の森づくりに着手することにした。

第57期（２０23年度）第１回理事会　　２０23年３月５日　　長田生涯学習センター

伊豆ＨＣ（野口潤資　）		清水労山（　千葉洋己）		焼津山の会（山崎勝治）	
（竹端節次）		静岡労山（原田信義　）		ＮＭＣ（海野美春）	
三島労山（平野　悟）		（森下英治　）		（森　英代）	
裾野麗峰（加藤秀子）		安倍っ子（竹本幸造）		浜松労山（鈴木秀人）	
沼津労山（　大村忠義）		（村山俊一）		フレンズ（小平吾一）	
あさぎり（富永政則）		山登歩（花澤秀治）			
ふじ山楽歩（加藤秀子）		（周防紀一郎）			

57期県連体制　　会長・・・竹本幸造（安倍っ子）
理事長・・海野美春（ＮＭＣ）
事務局長・・花澤秀治（山登歩）

ブロック体制　副理事長（東部ブロック長）・・野口潤資（伊豆HC労山G）
（中部ブロック長）・・原田信義（静岡労山）
（西部ブロック長）・・後藤秀人（浜松労山）

組織部体制　組織部長・・・・（東部ブロック）富永政則（　あさぎり　）
教育遭対部長・・（西部ブロック）後藤秀人　（浜松労山）
自然保護部長・・（東部ブロック）平野悟　（　三島労山　）

財政部・・・（中部ブロック）山崎勝治　（焼津）
会計監査　砂子とみ江（静岡労山）佐藤愛子（清水労山）

１　当面の行事予定

（１）代表者会議　５月　１４日　９：３０～１２：００
（２）第２回理事会　５月　１４日　１３：００～１６：００
各ブロックからの報告
各専門部からの報告
＊安全登山講習会　７月２日　野口いづみ氏（医師）

＊全国連携機関誌について・・・後日書式を配信しますので確認後返送してください
全国連盟HPで公開
全国連盟➡県連➡各会代表➡各会員
紙媒体希望者・・・*JWAFジャーナル*は人数分まとめて各会へ郵送➡各会員に
*季刊誌登山時報*は、年間４回自宅へ郵送　１２００円振込必要

ジャーナル紙面希望数		
沼津労山	1	鈴木みどり
伊豆労山G	12	野口潤資
安倍っ子	12	竹本幸造
静岡労山	5	瀧　茂

季刊誌登山時報購入希望
伊豆＝３
安倍っ子＝４
NMC＝２
山登歩＝２
焼津＝３
清水＝１

第５７期県連総会記録　代議員数２５　出席数２３名委任状2

2003/3/5　静岡・長田生涯学習センター

10:15～13:55

１．　開会の辞…副理事長（　加藤ひ　）

２．　静岡県連の歌　　後藤（裾野）

３．　会長挨拶　　全国で7名、県連関係で草野さん死亡に対し黙とう

リニア訴訟７・１８判決

４．　来賓挨拶（全国連盟理事長からのメッセージ代読　花澤）

５．　議長の選出　　森下（静岡）久保田（浜松）

６．　資格審査の報告……伊藤（あさぎり）

７．　選挙管理委員の選出……橋本（山登歩）村山（安倍っ子）

８．　書記の任命……遠藤（沼津）森（三島）

議　事

９．　第５６期活動総括及び会計報告

全体総括、組織部、教育遭対部、自然保護部、ブロック活動報告

会計報告、会計監査報告

１０．　討論及び採決

Q裾野　後藤　　県連規約７章１４条に山行事故で医療機関にかかった場合の届について

守られていないのではないか？会に無届でも報告すべきではないか。

A竹本　今後は無届であっても報告を！　今後の山行に参考となる

後藤（浜松）　今期の事故件数は１２件とする。

＜会計について＞

Qあさぎり　斎藤　雑収入45000円の内訳は？

A竹本　35000円は、自然保護集会の報告書作成の予備費の戻り

10000円はクライミング教室の講師代の還元金

Qあさぎり　斎藤　支出のCD50枚　１００００円は、全国連盟から出すものではないか？

A竹本　自然保護集会用に県連内でCD５０枚に落としたため費用が掛かった。

＜採決＞　活動報告及び会計報告は、賛成多数で可決。

１１．　選挙管理委員から役員選挙について説明

１２．　第５７期活動方針（案）及び予算（案）の説明

全体方針、組織部、教育遭対部、自然保護部、ブロック活動案（案）

会計案

１３．　討論及び採決

Qあさぎり　福原　山筋ゴーゴー体操の普及について、一歩踏み出す取り組みは？

A　海野　今まで集会で配布しているのを続けていきたい。希望などあれば検討したい。

Q安倍っ子　村山　組織部の方針の中にHP開設やリーフレットの発行などあるが1万円予算でいいのか？

A富永　現状足りている。

Q静岡　原田　平和行進は核兵器廃絶だけでなくほかの文言も入れるべきではないか？縦の旗が欲しい。

A竹本　県連で縦の旗はない。貴重な意見で前向きに検討したい。

Q裾野　後藤　「南アルプス写真展」を東部や西部でもできないか？

A竹本　予算や現実的な負担等から困難さを感じる。

→後藤　やる気の問題ではないか？　県連や東部ブロックなどで会場の検討を。

第57期予算案について質疑

Q裾野　後藤　ブロック活動予算案で配分の根拠は？できたころは人数割りだった。

海野　ここ数年は予算が少なく各ブロック１００００円でやってもらっている。

今年度はベルクシュタットをブロックで、ということもあり増やした。

浜松　坂野　西部ブロック活動費0円は納得してる。

山登歩　梅沢　人数比で配分するなら初めから必要ない。活動資金として予算の組み方が相応ではないか。

活動費が少ないと活動は弱まる。

山崎　人数割りでは、東部25500円、中部16500円西部7500円となる

浜松　後藤　活動方針が出ていないブロックなので、活動しないことを表明しているから0円で良い。

あさぎり　斎藤　会員拡大が労山の最大のテーマである。活動縮小の感じがして寂しい限りだ。

採択…活動案・・賛成多数で可決　　予算案・・賛成多数可決（保留１　反対２）

１４．　第５７期三役員・理事　信任投票及び投票結果報告・・・全員信任

１５．　新役員・理事の選出確認及び旧役員の挨拶

１６．　議長の解任

１７．　閉会の辞…副理事長（加藤ひ　）

１３：５５終了

議案書訂正・・・　事故報告件数は１２件

東部ブロック長加藤秀子（裾野麗峰）

「これでいいのか静岡県連」

後藤隆徳

♫･･･ちから～を　あわせつくりし　きぼう　みらい　あおぎて　みれば　はくぎん　つもる　しずおかけんれん　あああああろうざん・・・。

第５７期・静岡県連総会が３月５日、「静岡県連のうた」で粛々と始まった。「うた」の趣旨通り会員が力を合わせ、「希望・未来を創る」総会だった。

県連総会って何だろう。まず、一年の活動総括。良かった点、至らなかった所を点検・検証し、次年度に繋いでゆく。決算・予算は、総括した活動に準じて調整・配分する。司るのは執行部である。

■

今回の総会で一番理解に苦しんだのが、予算案のブロック活動費が東部・中部が同額だったことだ。ブロック活動費は、ブロックが県連以外でより一層、活動を活発化させるため設けられたもの。私が理事長時代始まったもので、当時、東部３０、０００－、中部２０、０００－、西部１０、０００－だった。

算定基準は、ブロック人数比。ブロック費が連盟費の「補助金・分配金」「バック・マージン」と考えれば、在籍人数に等しく配られるのが自然である。各部予算と性格が違うものだ。

連盟費は、一人年間２５２０－。会は在籍会員数で収める。連盟費が人数比で徴収され、再配分のブロック費がそうでないのは矛盾する。そうならば、連盟費も人数比でなく、今回のブロック活動費同様「人数非」にすべきだ。

今期、東部人数は１９２名、中部は１２６名。６６名違う。金額にすれば、１６万６千３２０－。それが同額とは、発想に無理があり、根拠が分からない。東部とて会員数が多く、経費は相応に必要となる。中部だけ個別扱いは極めて遺憾である。

■

しかし、百歩譲って、「そうであってもいい」が、それには、執行部の明快な提案説明が必要だった。今回、執行部から、「何故、そうなった」「何故、そうなのか」の誰でも分かる、皆が納得出来る、合理的説明が最後までなかった。執行部が説明できなければ、誰がするのか。

執行部は、何故、自身が説明できない予算案を提出したのか。結局、「証言」にあるように執行部・理事会が、しっかり話し合って予算案を提出した訳ではない。予算案が理事にメールで送られたのは１月２８日。総会まで１ヶ月あった。

時間は十分あった。例年と大差ない予算案ならまだしも、問題がある予算案に、何の補足説明もなく、メール一本で済ませた。

これでは、執行部が「理事会の確認と承認」なく、お手盛りで予算化したと思わざるを得ない。お金に関わることは微妙である。予算案を理事会に諮るべきであった。

■

近年、静岡県連会員数減少が著しい。今期組織目標は、４００名復活を掲げた。が、最

近、中型クラブが来期の退会を自身の総会で決めた。
　以前からよく聞かれるのは「魅力がない」「求心力がない」「メリットがない」「連盟費が高い・無駄」である。
　では、新会員を増やすことは難しいが、せめて現会員を退会させない、「努力・工夫・戦略」を考えなければ先はない。
　今回のように「訳不明・不明朗・不公平・不合理・不自然・不可解・説明責任なし・中部偏重」が続けば、ますます会員の気持ちは県連から遠ざかる。
　それでは、静岡県連に「希望・未来を創る」ことは出来ない。

証言

１月の理事会では西部はブロックの活動がないので辞退すること。中部は財政が少なく会合に集まる役員には交通費もだせない。
などの意見が出て、（年間１万）少し上げていこうとなりました。その時は細かい金額は検討出来ませんが、財政部長、理事長等で具体化してのでないかと推察します。
金額は総会資料で知りました。
昨年から理事になり、財政に限らず全ての部が総会資料見ればわかりますが、ちゃんと機能していません。今の県連の実状を直視する必要があるように思えます。

2023/03/24

2023/03/05　県連総会

当面の行事・山行予定（原則、定例ハイクは、毎月、巡礼・富士山ウオーク週がある土曜日です。諸般の事情で、予定変更あります。３月から第４週ハイクは、日曜日です）

日	曜	５月	日	曜	３月	日	曜	４月
1	月		1	水		1	土	総会とお花見
2	火		2	木		2	日	
3	水		3	金	アルパイン	3	月	
4	木	連休山行	4	土	杣添尾根	4	火	
5	金		5	日	第 57 回・県連総会	5	水	
6	土		6	月		6	木	
7	日		7	火		7	金	
8	月		8	水	伊豆巡礼	8	土	
9	火		9	木		9	日	
10	水	伊豆巡礼	10	金		10	月	ＭＭさん、誕生日
11	木		11	土	定例ハイク	11	火	
12	金		12	日		12	水	伊豆巡礼
13	土	定例ハイク	13	月		13	木	
14	日		14	火		14	金	
15	月		15	水		15	土	定例ハイク
16	火		16	木		16	日	
17	水		17	金	↓ＫＳさん誕生日	17	月	
18	木		18	土	アルパイン	18	火	ＫＹさん、誕生日
19	金		19	日		19	水	
20	土	アルパイン	20	月		20	木	
21	日		21	火		21	金	
22	月		22	水	伊豆一周ウオーク	22	土	
23	火		23	木		23	日	
24	水	伊豆一周ウオーク	24	金		24	月	
25	木		25	土		25	火	
26	金		26	日	定例ハイク（第４週）	26	水	伊豆一周ウオーク
27	土	定例ハイク	27	月		27	木	
28	日		28	火		28	金	
29	月		29	水		29	土	
30	火		30	木		30	日	
31	水		31	金		31	火	連休山行

切り抜き帳 静岡新聞から転載

シニア　月 園芸・料理　火 健

はりきり人生

好奇心に導かれ挑戦2000回

登山58年目

後藤隆徳さん

（長泉町）

18歳から山に登り始めて58年目。昨年、2千回を達成した。76歳。県東部の登山愛好家団体「裾野麗峰山の会」の代表も務める。

昨年、2000回目の登山を達成した後藤隆徳さん＝長泉町

週末は愛好家らと登山に励む。

職場のレクリエーションがきっかけで始めた。当時はノート、今はパソコンで登山記録をとり続ける。山に登るのは「自然の美しさと好奇心、情熱」があるから。「山は誰でも行ける場所ではない。自分の足で登るしかない」。過酷さとともに魅力も訴える。

西欧のモンブランや、ヒマラヤ山脈など海外の山にも登った。思い出深いのは2003年にスキー登山した富山県の剣岳。10キロほどを担ぎ、「人のやっていないことをやりたい」と挑戦する人が少ないルートを選んだ。

2千回目は伊豆の猿山だった。「自慢できる記録になった。80歳までは現役でいたい」と笑う。

（東部総局・山本萌絵佳）

3/16

■三浦雄一郎さんスキー滑降

冒険家の三浦雄一郎さん(90)が14日、北海道東川町の大雪山系旭岳（2291メートル）中腹でスキーを滑った。2020年に大病を患った影響で下半身にしびれが残る中、北海道最高峰を舞台に新たな挑戦に臨んだ。今夏には富士登山にも挑む予定だ。

午後1時半ごろにロープウエーで5合目付近(約1600メートル)まで上がった後、午後2時前にスタート。次男豪太さん(53)に後ろからロープで引っ張ってもらってバランスを取りながら、体の動きを確かめた。

午後3時過ぎに滑り終えた三浦さんは周囲の支援に感謝しつつ「大雪山らしい最高の雪質で無事楽しく滑ることができた」と笑顔で喜んだ。富士登山については「まだしびれは残っているので、自分の足で歩けるよう足腰を鍛えたい」とやる気を見せた。

大雪山系旭岳でスキーを滑る三浦雄一郎さん（右）＝14日午後、北海道東川町

3/16

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤　　写真・後藤
山行番.	NO.2009
日　時	2023 年 02 月 25 日（土）曇～霰～大雪
山　域	山中湖・石割山（1412m）
コース	「石割の湯」8：20一山中湖 8：42 一湖北・大平山登山口 9：33 一大平山 10：32 一米山さん宅 11：02 一石割山 12：01～45 一石割神社 13：05 一登山口 13：33 一石割の湯 14:00～15：45 一長泉（反省会）17：00
標高差	上り　湖北・大平山登山口約 980m～大平山 1295m＝約 315m＋30m 米山宅コル約 1220n～石割山 1412m＝約 192m 下り　石割山 1412m～石割の湯約 1015m＝397m
藪漕度	上り＝石割山西に少し
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
長い長い階段に参った	
参加者	後藤、加藤、伊藤、勝又、井上、星、斎藤＝7 名

長泉を朝７：００出発。車窓から雪化粧した富士山に感動しつつ、石割の湯に到着しました。総勢７人。まず、山中湖の白鳥たちに挨拶して、湖畔を三分の二程歩いてから、いよいよ大平山へ登山開始です。

ハクちゃん

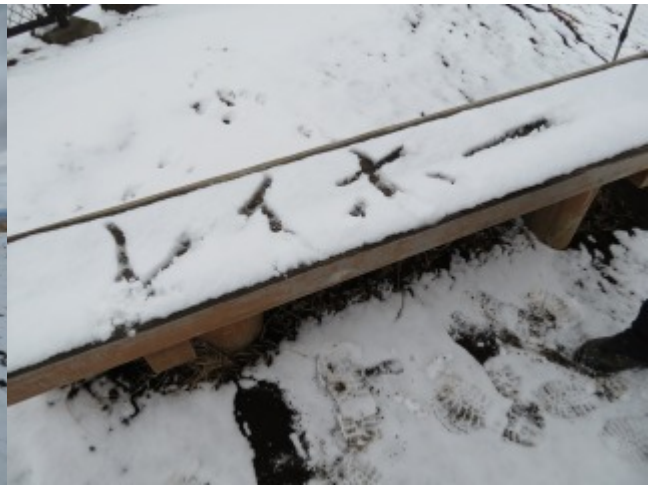
ハクちゃんは、甘えん坊

残雪を踏みしめながら慎重にかつ、楽しみながら山頂へ。ここで富士山は下半分しか見えず、これからの予報を知らされた感じがしました。

新雪が積もった椅子に「レイホー」と加藤さんがサインをつけた。これも楽しいよね。次は平尾山です。本来なら、気分良く歩ける縦走路でしょうが、あいにく視界は悪くなって来てしまいました。途中、スキーの知人だという方の別荘のすぐ裏を通りかかり、加藤さんがご挨拶に伺いました。

何と「９８歳」で元気にしているとのこと。素晴らしいですね。その方も、突然の訪問

湖北登山口



大平山　　サイン

米山和男さん（2020/6/16）

に驚いたけれど、嬉しかったでしょうね。さすが加藤さんはイイことをするな。更に整備された縦走路を歩き、平尾山は何気なく通り過ぎました。

　いよいよ、石割山にひたすら向かいます。頂上直下は急登で滑りやすく更に緊張です。

長い階段

美味しいイワシ焼き

着きました。山頂です。ですが、富士山はほとんど見えません。でも、風が無かったので、普通に昼食出来ました。そこに犬と子供を連れの家族が登って来て、少しいて、そのまま下って行きました。

昼食は早々に終わり。そこにあった標識に目が止まり話題となりました。「標識は正確さが必要だね」と思いました。

さあ、下山です。いや～、この道は、来た時の道に比べ泥道でした。先ほどの子供さんの服が、泥だらけが納得出来ました。

やっと、石割山の由来なる神社に着き、大きな石というより、岩があることが分かりま

した。その岩の隙間を通って３回まわると、御利益があるということで、皆で一周しました。代表して井上さんが３回潜り、「世界平和・(安全登山)・(自然保護)」を願ってくれました。ありがとね。

この下は、４００段の階段を下ります。所々、凍っているので緊張です。実際は、４０３段あったようです。やれやれと思っていたら、「アラレ」が降って来ました。まるで、発泡スチロールの粉まみれのお中を歩ているようで、楽しく初体験のことでした。

石割の湯に着くころは、「アラレ」が「ミゾレ」に変わり、湯上りした時、「ミゾレ」が静かに降る様子が見え、何か落ち着く雰囲気でした。

雪の積もった道路を帰路に向かいます。途中、タイヤの検問や何台もの除雪車に遭って、雪国の生活を垣間見たような気がしました。

そんな状況でも、ビクともしない加藤さんの運転で無事、長泉着に着きました。今回は、盛り沢山の初体験が多い一日でした。皆さん、有難うございました。

(99%原文のまま転記しました)

石割神社の大岩

アラレ

その他の記述（ごとう）

１.「石割の湯」は、イヤな顔一つせず、駐車 OK だった。

２. 山中湖の白鳥は、最初一羽だったが、加藤さんの行動食の「アンパン」釣られて、もう二羽何

処からとなく現れた。カモも沢山集まった。

3．昔は山中湖・平野で「天然スケート」と楽しんだが、今回は全く凍結なし。大平山登山口の湖北まで湖畔道は長い。大平山で「アラレ」が降って来た。

4．「芙蓉台別荘地」最上部に住む方は「米山和男」さん。2020 年 6 月 16 日、後藤・加藤・星で「ソバ持参」で訪ねた。20 年程前、富士山スキーで知り合った。

5，山頂で出会った方は、夫婦・親？・子供 2 名。韓国人？子供は英語？凍った滑りやすい、我々が上った路を下ろうとしていたので、「ダメ・キケン」と止めた。

6．昼食事、焼いて貰った「イワシ」が美味しかった。（念のため、私はノンビアです）

7．イワシの食べ残しや、お茶カスを山頂に捨てた会員がいたが、労山の「自然保護精神」に反する行為。猛省し、今後、絶対止めて欲しい。

8．石割山の標識は、「御正体山（みしょうたいさん）」のルビが「ごしょうたいさん」だった。こんな看板が訂正なしで存在は世も末だ。

9．大失敗。どうもオカシイと思っていましたが、石割山から直接、石割の湯に下る道はあった。長い階段の入り口を階段でなく、左の道を辿れば正解でした。山と高原地図にもしっかり表記がある。地図を持っていたのだから、他言に惑わされずに確認すべきでした。

10．やっぱり、スタッドレス・四駆は安心だ。

インチキ道標

大雪だった

石割山山頂

可愛いね

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・井上、後藤
山行番	NO.2010
日　時	2023 年 3 月 4 日(土)晴れ
山　域	八ヶ岳・北横岳（2480m）
コース	長泉 5:00－東名富士 IC 5:20－駐車場「女の神氷水」発 8:19－竜源橋駐車場 8:35－天祥寺原分岐 10:42－亀甲池 11:24－北横岳（北峰）2480m12:48 －（南峰）三角点 2472.5m12:56－下山開始 13:08－亀甲池 13:48－竜源橋駐車場 15:15－駐車場「女の神氷水」着 15:20（分隊 14:50 着）-16:00 まで休憩－長泉 19:00
標高差	女の神氷水 1625m～北横岳（北峰）2480m＝855m
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい
等高線の通りの厳しい登り	
参加者	後藤、加藤、星（3 名・標高約 2200m まで）、井上＝4 名

長泉からの出発は後藤さん、星さんと私の 3 人で、東名高速富士 IC の駐車場で加藤さんをピックアップ。道中で見た八ヶ岳の雪は少なかった。

「女の神氷水」前の駐車場には車は 1 台も停まっていなかった。駐車場までの道路は脇に雪があるが走行上問題はない。スタートからアイゼンをつけ、道路脇の雪の上を歩いた。少し下ったところの水道設備から登り口と思って行ってみたが間違いで、反対に少し上ったところの竜源橋の駐車場が登り口と分かった。

登山口

滝ノ湯川

竜源橋の駐車場には 4～5 台の車が駐車しており、これ以上の駐車はできなかったようだ。下の駐車場を選んだのは正解だった。雪面にはスキーの跡もあった。天祥寺原までは 300m ほど登る。吉祥寺原は平らで樹木も少なく踏まれていない雪面がきれい。

ずぼずぼと足が雪にはまるので星さん以外のワカンを持っている 3 人がワカンをつけた。後は、体の大きい順に歩いて雪を踏み固め、後ろの人が雪にはまらないようにするため、

天祥寺平

ワカン

天祥寺原（平）

私が先頭となった。ワカンを分岐で右に折れ、南の亀甲池を目指す。目の前ののっぺりとした尾根を右に巻いて沢すじにでる。

やがて、後藤さんから先に行くように言われたので、後続を待たないで進むことになった。雪面には、スノーシューとワカンのトレースがあり先行は２人のようだ。亀甲池でスノーシューの足跡が北横岳に向かい、ワカンの足跡は双子池に向かった。後で、スノーシューの人が下ってきたときに聞くと、ワカンの人は、登り口近くで私たちを抜いていった単独の女性で双子池ヒュッテに向かったとのこと。

亀甲池に向かう（後ろは、蓼科山）

亀甲池

西尾さん

11:24。亀甲池は標高 2040m で北横岳まで 440m 残っている。夏山なら 1 時間だろう。雪にトレースがついていれば頑張れば 1 時間でも可能ではないか。12 時半を目標に取り掛かった。北横岳は私自身全く初めてで、せっかく遠くまで来たのだから、できれば登頂したい。地形図の等高線の込み具合からきつい登りであることは予想していたが、予想以上だった。すぐにワカンを外し、アイゼンで登る。

男性 2 人が下ってきた。ロープウェーで北横岳に登り、車が停めてある竜源橋に行くと

のこと。その後、同じコースで先行していたスノーシューの男性が下りてきた。スノーシューでは登れないと判断し、やめたそうだ。聞くと 74 歳（松本・西尾さん）とのこと。
　アイゼンの先端の爪が刺さればどんどん登れるが、先行者はスノーシューの１人だけで雪が固まっておらず、足を上げても元の高さに戻ってくる。

撮影・井上（後ろに、赤岳が見える）

　木の枝の上に雪の道があるので、足場はふわふわとし踏ん張れない。足を置ける場所を手（足）さぐりで探すが、硬い場所がなく腰まで雪に埋まる。手でつかむところもなく、先に進む方法がなくなった。今日はここが限界で、引き返す潮時だと思った。
　でも、もうちょっと頑張ってみようと思い、悪あがきを開始した。上げて戻ってくる足で、とにかく足元の雪をかけ分けて少しでも踏み固める。両拳を同時に雪に突き刺し、四肢に体重を分散してゆっくり体を持ち上げた。クリアした。なんという達成感だろうか。
　目の前の小さな壁は、がんばれば越えられるのだ。腕時計の高度計を見ては、あと 100m だけ、あと 100m だけと自分を励ました。これを繰り返してゆけば登頂できるかもしれない。しかし、このような壁がもう一回現れたが、さっきも乗り越えられたのだから、もうちょっとだけ頑張ってみようと思い挑戦すると、また壁を越えることができた。この 2 回の体験はすばらしい体験となった。
　また 4 人の男性が下りてきた。少しでも多くの人が雪を踏んでくれると、帰りの下りが歩きやすくなるのでありがたい。でも、全員スノーシューかワカンだったので、あまり踏

み固められておらず、下りでも何度も下半身が腰まで雪に埋まり、脱出に苦労させられた。その方たちから、厳しいところは残っているが、森林限界まであと少しですよと励まされた。すごい汗ですねといわれた。

上半身は長袖Ｔシャツのみで、サングラスは汗まみれで前が見えない。

森林限界を超えると、尾根にでて、圧雪された尾根を頂上まで歩く。頂上には何十人という人がいた。私一人、シャツ一枚で汗だくで息もハアハアといって、とても場違いな感じがした。

撮影・井上（後ろは、蓼科山）

すぐ先に三角点がある南峰が見えた。こんな苦労する山にはもう来ないかもしれないので、行っておくことにした。南峰では、赤岳を中心とした八ヶ岳の峰々が見えるが、遠いため、最近、登った編笠岳から見た景色の方が迫力であった。青空に恵まれ全周囲の景色が見えるが、今日は景色より登り切った感動がすべてだった。

ここで時刻は１時になり、写真を撮り、脚はパンパンだったので念のためアミノ酸を水で流し込んですぐに下山開始した。すると、後藤さんからショートメールで「下山します」の連絡がきて、自分も「今から下山する」とメールを打った。亀甲池までの下りのコースタイムは１時間だが 40 分で下りた。ちなみに亀甲池から北横岳までの登りのコースタイムは１時間 20 分で、私は１時間 24 分だった。

亀甲池では、登りの最後に会って下っていた男性４人に追いついた。そこから双子池ヒ

ュッテに向かうそうだ。しばらくすると、右側の雪に「レイホー今から帰ります」のメッセージが書かれていた。あとで聞くとやっぱり、加藤さんと星さんが書いたそうだ。

　ここからの水平移動は辛かった。食事といえるような休憩を取っていないので、ザックの重さが変わっておらず、肩が痛い。水平移動は登りに匹敵するくらい脚にもきた。グリセードで楽に下れるのではないかと期待し、アイゼンを外したが、圧雪されていないので、またずぼずぼと足が埋まる。

提供・井上

雪上ひな祭り

昼食

ワカンをつけた方が歩きやすそうだが、面倒なのでがまんして進んだ。天祥寺原の分岐についてもまだ水平移動は長く、つらい歩行が続いた。

天祥寺原を抜けて樹林帯に入り、ようやく、標高を下げる下りが始まった。頂上から竜源橋までの下山のコースタイムは 2 時間 40 分のところを 2 時間 7 分で下った。竜源橋の駐車場にはスキーを片付けている人がいた。道路を歩き、女の神氷水の駐車場に到着。先に下った 3 名は、車の横にテーブルとイスをだして、私を待っていてくれた。

帰りの運転をするつもりだったが、疲れていることを気遣っていただき、運転は免除され、ビールを飲めるようになった。山で飲むつもりで一日中かつぎ続けた重いビールを出して飲んだ。格別に美味かった。思ってもない、貴重な体験をさせて頂きました。　**以上**

亀甲池逍遥

地理院地図
GSI Maps

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・井上、後藤
山　番	NO.2011-1
日　時	2023 年 3 月 11 日(土)晴れ
山　域	富士山・宝永山（約 2710m・山岳スキー）
コース	長泉 6:00－洞門トンネル北駐車　発 6:46－宝永第一火口分岐 11:54－宝永山三角点の少し北からスキー開始－スキー外す 14:00－駐車場着 14:30－長泉
標高差	洞門トンネル北 1275m～宝永山分岐 2710m＝1435m
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　レ困難　やや困難　普通　やや易しい　易しい
宝永山からの初スキー	
参加者	後藤、加藤、井上＝3 名

雪があれば山スキー、雪がなければ登山と、2 本立ての準備をした。御殿場までの道中から見る富士山は斜面の南側が見えるので雪が少なく見える。最近の大雨でなくなっているかもしれない。御殿場からキャンプ富士の方にくると、富士山の東側に雪がありそうだとわかった。それでも小富士はほぼ雪はなくなっていた。

洞門発

加藤さんに先に洞門に着いてもらい、駐車場所を確保してもらう予定だったが、トンネルの南側の閉鎖された駐車場のさらに西にある道際のスペースにはすでに 6 台くらいの車が停まっていた。トンネルの東に 2 台並べて駐車。

スキーをザックに取付け、ヘルメットをかぶる。暖かくなったとはいえ、歩き始めはまだ寒く、持っている防寒用のものは全て身に着けている。加藤姉御（または麗峰の女帝）から「宝永山にいけるのは今日が最後かもね。行ってきな。」と言われたが、先週の北横岳

のダメージはまだ体から抜けておらず、今日は、お気楽スキーのつもりだった。
　林の中は頭上の木の枝に担いだスキー板が何度もぶつかり、枝をよけながら歩く。林を抜けると地面には大雨でできたと思われる深い溝があり、その中はストックで刺しても割れないカチンカチンの硬い氷だった。少しずつ雪が現れる。体温が上昇し、T シャツ一枚になる。最近のパターンで、後藤さんから「先行って」と言われ、ここから一人先行して登る。遠くの二ツ塚の上塚のコルから子供の声で「ヤッホー」が聞こえた。「ヤッホー」と返し、手を振りあった。

　前方には、スキーで登っている単独の人と、さらにずっと上に 2 人いるように見える。この 2 人はなかなか移動しないので、人ではなく木の杭かと思ったが、非常にゆっくりと動いていた。とりあえず、この人たちよりは上に行きたいと思った。
　二ツ塚を越え、宝永の赤岩を目標に進む。徐々に傾斜が強くなってくると、スキーブーツの裏についた雪で滑りやすくなったので、アイゼンを付けた。これで滑落の心配はかなり減る。雪の斜面は、凍って輝いているところと、やわらかい雪が残って風紋となっているところが交互になっている。
　登りながら横目でこれを見て、この斜度とこの雪の状態で、自分のスキーの能力で下ることができるか不安になっていた。いろんなことが頭をよぎる。昨年 4 月に富士宮口道路の開通日にスキーをして転倒し手の指を切ったこと。10 年位前に、今回と同じコースで一

人宝永を目指し 2250m で体力の限界が来て、休憩のために片膝を雪面についたら雪の下が凍っていて、膝を切ってしまい下りのスキーが大変だったこと。昨年末に地元の若い男性が、おそらくこのコースを滑落し何日も発見されなったこと。とにかく、今日は転ばないことが第一命題だ。絶対に怪我をしないこと。

スキーでうまく滑り下りる自信はなかったが、それよりも、10 年前に挑戦し断念した雪の宝永山に登りきることが目標だ。先行していたスキーヤーはシール歩行で大きく右に移動して見えなくなった。二人組は名古屋から遠征してきた男女だった。男性は数年前に心肥大を患ったとのことで、今もかなり苦しそうだ。

美しい山・上塚

洞門で駐車できなかったので水ケ塚に車を停めて、車道を歩き、朝 5 時からすでに 5 時間以上登っているそうだ（つまりこの時は 10 時ごろ）。一日は長いのでゆっくりと行けるところまで行くとのこと。

せっかく遠征してきたので、明日は三つ峠に登る予定という。いつもそうだが、富士山は、遠方からわざわざ来たいところなのだ。私達には裏山みたいな近所の山ですが。単独スキーヤーは遠くに左に進んでいた。かなり早い。自分より前方には誰もいなくなり、登りと下りの新しい足跡が一人分ずつあるので、ないよりましでこの足跡を踏んで少しでも歩きやすいところを狙うが、それでも何度も雪に沈む。

下・上塚（撮影・井上）

やがて、宝永の頂上から降りてくる人が現れた。一人目は単独の若い女性。スキーを担いでいるとすごいですねと言ってくれるので、これで少しは元気になれる。次は若い男性2人。この人たちとは、またあとでも会った。スキーヤーはいない。

宝永火口の縁は雪庇になっているので、登りやすそうな右側に進んだ。どんどん斜度はきつくなるが、あとわずかと思い、自分を奮い立たせた。火口の縁に上がるとそこは、いつもの分岐点だった。宝永山頂からだいぶん右に来ていた。宝永火口側は雲で真っ白だ。宝永山頂近くにスノーボーダーいたので、そこまで行くことにした。都留からきた34歳男性。スプリットボードが欲しいと言っていた。火口縁東側の急斜面の新雪を一気に下って行った。このあたりにほかに滑った跡はないので、第一号だろう。

加藤の滑降

宝永山（提供・井上）

2008/12/18　宝永山

自分は、むり。こんなとこ行けない。とりあえずスキー板を付けたところで、ザックにひっかけていたヤッケがないことに気が付いた。しまった、落としたようだ。宝永山頂近くからはとても滑り出せないので、登ってきた縁を戻り、スキー板で歩く感触を確かめた。

2008/12/18

分岐に戻ると、ヤッケが落ちていたので拾うことができた。

ようやく滑り出すことにしたが、斜面のきつさと雪面の状態に、気後れする。まずはずるずるとトラバースの斜滑降。ボーゲンでターンするが、一瞬、真下に向かうだけで急加速する。慌てて片足を踏ん張り、スライドしながら回る。やばい。コントロール不能だ。風紋の場所はスキーの先端が雪にささりつんのめる。光っているところは凍っていて思わぬ加速する。どっちもターンが難しい。通った後に割れた表面の雪片が氷の上をカラカラと音を立てながら、止まることなく転がり斜面に消えていく。おーこわ。

斜滑降してターンをする運動から、プルークボーゲンに変更し、連続できるターンを１回から３回、８回と増やしていき、スキーらしくなってきた。とても前傾になれず腰が引けたままなので、エッジが効きにくく思ったところで回れない。歩いて登っているときより汗をかき、息が切れた。

とにかく、とにかく転ばず無傷で下山したい。それだけを祈った。その時は、怖がってスキーができなかったと思っていたが、後で思えば、脚の疲れからスキーを操作できなかったような気がする。二ツ塚の方へ向かいトラバースしてきた道の方向へ戻る。この辺りまで来ると、斜面はゆるく楽だ。ちょっぴりシュテムターンやパラレルターンを楽しんだ。後は、二ツ塚にできたシュプールをトレースして戻るだけだ。転ばなくてよかった。

２時、雪がなくなりスキーを外した。先週に続き、頂上で休憩せず、昼ご飯を食べていないので腹が減り、ミニクリームパンを口に放り込んだ。後は歩いて下る。御殿場口駐車

場の方から男性一人が登ってきた。宝永直下ですれ違った 2 人組の一人のようだ。連れが体力がなくなり、スタート地点の水ケ塚までいけないので、御殿場口入り口で待ってもらい、自分は二ツ塚から水ケ塚に戻り車を取ってくるのだそうだ。

洞門につき駐車場所にたどり着くと、その友人がいた。元気そうなので良かった。自分は、しっかりと疲れた。スキーブーツから足を抜くのに苦労した。スキーブーツは帰宅後洗っていたら、プラスチック部分が劣化でどんどん割れていった。登山行動中に壊れなくてよかった。その点では運がいい。

壊れたブーツ

下界に戻ると、自分が到達した宝永山山頂の場所とそこから雪のないところまでスキーで下ったところが見えて、誇らしく思えた。

その後、後藤さんは板妻の芹沢さん宅により、「大蛇（おろち）」という品種のメダカを 2 匹譲り受けた。まるで金魚のようなメダカ。バケツの中の「おろち」は泳ぐと胸びれと尾びれが、山本リンダの狙い撃ちの衣装のようにひらひらして見て飽きなかった。

今日も疲れた。でも達成感はハンパない。　以上

その他の記述（後藤）

1. 後藤・加藤は、標高約 2000m まで上り、一本目の滑降。雪質は一番良かった。
   二本・三本目は、上塚山頂から滑降。気温上昇と共に雪は悪くなった。登山者は数名居たが、スキーは神奈川の 2 名のみ。三本目の滑降時、井上報告のボーダー滑降を上塚から目撃した。
2. 富士山下部は今回で賞味期限切れ。今年も雪が少なく、年々、滑降は難しくなる。
3. 井上の壊れたブーツは元々、Ｎが使っていたモノ。昔の写真で調べたら、1994 年ころのモノ。考えてみれば、随分、持つものである。
4. 宝永山滑降は、2008/12/18、2012/11/25 に滑った。昔は、12 月でも十分滑れた。
5. 宝永山滑降最高記録は、2001/02/03、後藤・加藤・渡辺・長岡。標高約 1050m の青年の家から標高差 1600m を 5 時間 40 分で上り、宝永山着 12 時 40 分。滑降は周遊道も滑り、青年の家着 14 時 20 分だった。生涯記憶に残る超弩級スキーだった。
   http://susono-reihou.babyblue.jp/946

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・斎藤　　写真・加藤、斎藤
山行番.	NO.2011-2
日　時	2023 年 03 月 12 日（日）晴
山　域	浜松・兎荷山（とつかやま・410m）～三岳山（467m）
コース	長泉 6:30－富士 IC7:00－三岳山登山口 9:10－三岳神社 9:20－三岳山 9:57－兎荷山 10:15－三岳山 10:25（昼食）～11:18－三岳山登山口 11:44－立須 11:58－龍潭寺参拝 13:26－カフェ長泉 16:30
標高差	上り　三岳山登山口約 318m～三岳山 467m＝約 149m 下り　兎荷山 467m～立須約 378m＝約 89m
藪漕度	なし
難易度	非常に困難　困難　やや困難　<u>普通</u>　レやや易しい　易しい
兎ポーズで決めました	
参加者	加藤、星、伊藤、合谷、斉藤、深沢（山楽歩）、鈴木（元会員）＝５＋２名

今回は加藤さんリーダーで引佐郡にある兎荷山(とっかやま)までハイキング。レイホー隊は長泉に集合し 4 人で出発。富士 IC で加藤隊に合流、西を目指します。途中浜松 SA で小腹を満たし一路三岳山登山口へ。今回の参加は久しぶりの方や高所恐怖症の方などもいて低山を楽しむハイキングです。

登山口横の三岳神社に参拝してさあ出発。30 分程で三岳山山頂に到着。ここは三岳城跡で国指定史跡との事。

雲が多かったので展望が心配でしたが大きな浜名湖やアクトシティ浜松も見渡せて満足。次の兎荷山へ。

途中急な下り坂で高所恐怖症さんが固まってしまった。冷や汗脂汗タラタラ、、、「ここで待ってる」と今にも泣きそうなのをなだめすかし何とか通過、兎荷山に到着。

立ち木に囲まれて展望はゼロ。写真を撮ってすぐ三岳山山頂に戻って昼食タイム。

女子会のような賑やかさ、、、あちこちからおかずが出るわ出るわ、漬物、煮物、自家製野菜などどれも美味しくて、おなかいっぱいありがたくいただきました。ご馳走様でした。

リュックが軽くなったところで出発です。くだりはあっという間。

兎ポーズ！！？？

三岳神社横で満開の「房桜」を発見。しばし見惚れる。次は立須へ。黄色の綺麗な花を発見。黒い枝や幹が特徴的。検索すると「アオモジ」との事。ちょっと不確か

立須はゴツゴツの岩場を少し登っててっぺんへ。ちょっとスリルがありました。

今回のハイキングはこれで終了。まだ 12 時ちょっとすぎたくらいだったのでここから寄り道。直虎さんで有名な龍潭寺へ寄ることに。

手入れの行き届いた見事な庭園や廃仏毀釈を乗り越えた仏像など見せて頂きました。おすすめのカフェで美味しいコーヒーと不思議な話を伺いいつもと違う女子会＋のようなのんびりハイキングでした。

立須

写真報告　　03/19（日）　下ノ権現山　　後藤・加藤

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう）

会報「れいほう」
2023/02/25
第 29 期・01 巻　　2023/4 月号　　NO.260
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990　055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

春爛漫　伊豆松崎・大沢川　3/22